

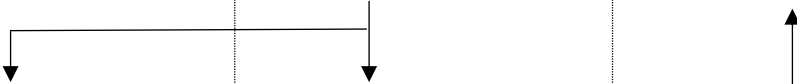
来年度以降の藤沢型地域包括ケアシステム推進に関する会議開催等について(案)

これまで、藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたっては、2017年から2020年に向けたロードマップを設定し、次いで2021年から2025年に向けたロードマップを設定し、6つの重点テーマごとに取組を進めてきました。いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年に向けて、藤沢型地域包括ケアシステムの推進が必要である一方、専門部会・分科会で取り扱うテーマや会議運営については、見直しのご意見も上がっているところです。

今後の進め方について論点を整理し、2025年度(来年度)を見直し期間として設定し、2026年度以降、見直し期間の議論を踏まえた体制で進めていきたいと考えています。

1. 見直し期間の設定について

2025 年に向けたロードマップにおいて、2025 年度を検証期間と定めています。これまでの取組を評価し、2026 年度(再来年度)以降に向けて、これまでの取組内容及び推進体制を見直すことを検討しています。

(1)ロードマップ上の位置づけ		
2024 年度	2025 年度	2026 年度
実行	検証／見直し期間	検証を踏まえた推進体制～
		
(2)評価		
・庁内関係課 ・外部委員会	・ <u>市民意識調査</u> (<u>本業務委託内</u>)	
(3)課題整理		
<課題抽出> ・個別分野では解決困難な課題 ・会議の活用状況	<方向性検討> (1)分科会の設定 (2)会議運営 (3)重点テーマとロードマップ	

2. 評価について

検証にあたり、これまでの取組を次の3つの観点から評価を検討しています。

— (1) 庁内

- ・推進項目検討シート<参考資料2>
- ・年度ごとの取組状況<参考資料3>

(2) 外部委員会<参考資料4>

藤沢型地域包括ケアシステム推進会議において、3つの理念に対してアンケート評価。

— (3) 市民意識調査(本業務委託内)

3. 課題整理について

(1) 分科会の設定

分野横断的な取組が必要な課題を抽出し、分科会への設定を検討。

(2) 会議運営

会議運営について課題を抽出し、推進体制・会議の開催方法について検討。

(3) 重点テーマとロードマップ

2015年度に庁内検討委員会を設置し、7つの重点テーマを定め、2017年度には現在と同様の6つの重点テーマを新たに定めてから、一定期間が経過している状況に鑑み、庁内の分野横断的な取組が必要なテーマについて見直しを検討。

ロードマップについて、実効性について意見が挙げられていることから、新たなロードマップ設定の必要性から検討。